



崇高な進歩へ — 自分を律し、他者への共感を育む  
より良い選択 & より良さを追求

第2学年主任 佐藤 輝和

# こころ 夢を語り 合いながら M I G A K I

— 当たり前の徹底(凡事徹底) — 有り難さの追求 —

< 宮城いきいき学園コラボ★地域貢献活動～西古川駅&東大崎駅清掃～掲載記事紹介 >

(日刊) 大崎タイムス

2022年(令和4年)10月25日(火曜日)

宮城いきいき学園大崎校24期会(佐藤吉正会長) 会員約20人は21日、大崎市古川地域を走るJR陸羽東線の二つの無人駅で清掃奉仕活動を行った。6回目となるこの日は古川西中(笹川清治校長、生徒数127人)の2、

## 陸羽東線きれいに

### いきいき学園大崎校24期会

### 古川西中生徒も協力参加



3年生84人も集まり、協力して駅内外をきれいにした。  
無人駅の清掃は毎年行っているが、今回は活動を知った古川西中から打診があり、社会貢献に加えて世代間交流の場としても開くことになった。この日は会員と生徒が東大崎駅と西古川駅の二手に分散。西古川駅では駅周辺やホームに生い茂った雑草を鎌で刈ったほか、駅舎の窓を拭いたりクモの巣をほうきで



除去したりした。刈った草や集めたごみで軽トラック1台が満杯になり、駅は見違えるほど

協力して清掃活動をする会員と生徒たち



3年の加藤博子さん(14)は「とても良い体験で、地域の大人と交流する大切さをあらためて感じた。駅を利用する人たちが良い気持ちになつてくれれば」と笑顔を見せた。佐藤会長は「孫のような年齢の生徒たちと一緒に活動して、会員たちも張り切っていた。私たちの活動を見て、社会貢献に少しでも興味を持ってくれたらうれし」と話していた。  
同学園は県社会福祉協議会が運営している、健康で学習意欲がある60歳以上の県民を対象とした学びの場。24期会は大崎生涯学習センター・パレットおおさきで開かれる大崎校を2018年3月に卒業した32人で組織する。





